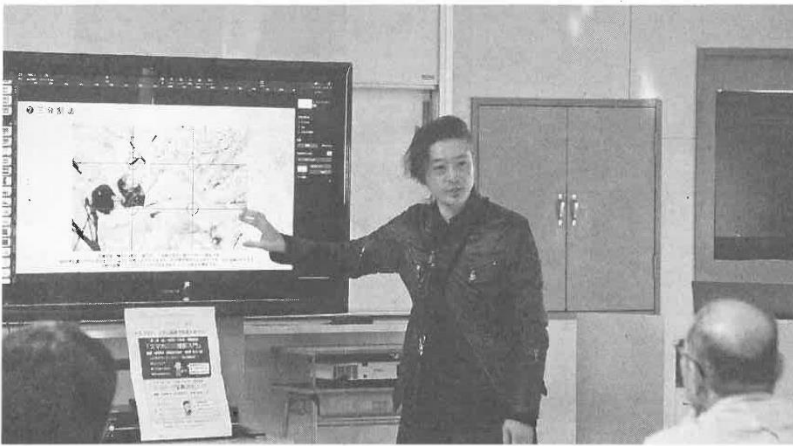


# 何を伝えたいかが重要

## ランチタイムミニ・カルチャー講座



上手な動画の撮り方を説明する中坪さん（中央）

何を伝えたいかが重要。それが分からずに撮ると伝えることが明確じゃないので、伝わらない工夫を込めた。福島南屋（なお）さん（定時制3年）は「アルファベットの撮り方が印象に残っている。食べ物だったり、アルファベットのCを意識。食べ物を端にして撮ると映りが良くなる」と分かった」とほほ笑んだ。

千葉祥貴（よししたか）さん（同）は「動画の編集や加工などをしたかった。それを実際にやってみると、少しでも学ぶことができて良かった」と舌を弾ませた。

7日には、同コンテンツで審査員を務めたフォトグラファーの足利文香さんを招き、写真テーマに撮り方のコツを学んだ。

## 杜陵高 スマホの撮り方学ぶ

同講座は、1月に実を動画や写真などを通した「杜陵高校作品として伝えることを目的とした」動画を写すに、本校だけでなく、真・ポスター」がき 奥州校も含めた生徒全つかいで開催。同コン員を対象に応募を募った。同校の魅力だ。

講座では、生徒だけでなく、保護者や地域の人も呼び掛け、昼の哲学と撮影の哲学は似ている。それを伝えることによって、撮り方が変わるかなと思っただけで、一つだけ言うと、6日は、同校卒業生

盛岡市上田の杜陵高校（三田正巳校長、定時制95人、通信制169人）で6、7の両日、ランチタイムミニ・カルチャー講座が開かれた。来年度を迎える100周年記念事業の一環として行われた初の試み。参加者は、スマホで上手な動画や写真の撮り方を学んだ。

その際に、生徒から「もっと上手に撮りたい」「スマホの機能がよく分からないから教えてほしい」などの要望が寄せられた。講座では、中坪さんは「撮影哲学を持っていく。人生の哲学と撮影の哲学は似ている。それを伝えることによって、撮り方が変わるかなと思っただけで、一つだけ言うと、6日は、同校卒業生